

見附市斎場 施設管理業務委託契約書（案）

（長期継続契約）

見附市斎場施設管理業務の委託について、見附市長 稲田亮(以下「甲」という。)と〇〇〇代表〇〇〇(以下「乙」という。)との間において、次のとおり契約を締結する。

（総則）

第1条 甲は乙に対し、以下の施設管理業務を委託し、乙はこれを受託するものとする。

（1）業務名 見附市斎場施設管理業務委託

（2）施設名 見附市斎場

（3）所在地 見附市本町3丁目671番地2

（委託業務）

第2条 委託業務の内容は、別紙「見附市斎場 施設管理業務仕様書」に定めるものとする。

（委託の期間）

第3条 委託の期間は、令和7年4月1日から令和10年3月31日までとする。

（委託料及び支払方法）

第4条 委託料は、総額¥ 00,000,000－（消費税及び地方消費税含む）とする。

内訳令和7年度¥ 00,000,000－（消費税及び地方消費税含む）

令和8年度¥ 00,000,000－（消費税及び地方消費税含む）

令和9年度¥ 00,000,000－（消費税及び地方消費税含む）

2 委託料は月払いとし、甲は乙の適法な請求を受けたときは、請求書を受理した日から30日以内に支払うものとする。

（契約保証金）

第5条 本契約に係る契約保証金は免除する。

（費用負担）

第6条 甲及び乙が負担するものは仕様書に定めるものとする。

（一括再委託等の禁止等）

第7条 乙は、委託業務の全部を一括して、第三者に委託してはならない。

2 乙は、委託業務の一部を第三者に委託する場合は、あらかじめ甲の承認を得なければならない。

（遵守義務 秘密の保持）

第8条 乙は、この契約書、仕様書及びその他の関係法令を遵守しなければならない。

2 乙は、業務上知り得た全ての情報を第三者に漏らし、または関係書類を閲覧させてはならない。

3 前項の規定は、甲と乙との間の契約終了後も同様とする。

（業務従事者の届出）

第9条 乙は、業務を適正に遂行するため業務従事者を定め、仕様書に基づき業務従事者の住所、氏名及び経歴を甲に届出るものとし、業務従事者のうちから責任者を選任し甲の承認を得ること。

2 乙は、従事者を変更する場合は、変更届を提出し、甲の承認を受けなければならない。

(不適合者の交替)

第10条 甲が従事者を不適合と認めた場合は、その理由を明示して乙に対し交替を求めることができる。

2 乙は、前項の定めにより甲から従事者の交替を求められた場合は、これに応じなければならない。

(業務内容の変更)

第11条 甲は、必要があると認める場合は、委託業務の内容を変更し、または委託業務を一時停止することができる。この場合において、委託料または履行期間に変更がある場合は、甲と乙とが協議してこれを定めるものとする。

(業務不履行時の処理)

第12条 乙が行う業務が、甲が求める基準を満たしていないと認められるときや利用者等からの苦情、要望があったときは、甲は乙に対して改善の指示を行うことができる。

2 甲は、乙が前項の指示に従わない時は、契約の解除または期間を定めて委託業務の停止を命ずることができる。また、その期間を他の業者に行わせた場合の費用は受託者が担うこととする。

(契約の解除)

第13条 甲は、乙が次の各号のいずれかに該当するときは、この契約を解除することができる。

(1)この契約を履行しないとき、又は履行の見込みがないと認められるとき。

(2)乙、または乙の代理人もしくは使用人等に不正の行為があったとき。

(3)入札及び契約に際して虚偽の申告をしたことが判明したとき。

(4)上記(1)から(3)のほか、仕様書に定めたとおり。

2 甲は、前項第1号及び第2号の規定により契約を解除する場合は、その旨を乙に通知するものとする。

(損害賠償)

第14条 乙は、この業務の実施に関し甲に損害を与えたときは、損害賠償しなければならない。

2 前条によりこの契約が解除され、かつ、甲に損害を与えたときは損害賠償をしなければならない。

(協議事項)

第15条 この契約に定めのない事項については、甲、乙協議のうえ処理するものとする。

(契約の効力)

第16条 この契約の締結を証するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印のうえ各自その1通を保有する。

令和 7年 ○月 ○日

甲 見 附 市

見 附 市 長 稲 田 亮

乙 ○○○○

代 表 ○○○○